

公益財団法人 リバーフロント研究所

I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

- 所在地 東京都中央区新川一丁目17番24号
- 設立年月日 昭和62年9月1日
- 代表者 代表理事 塚原 浩一
- 基本財産 542,300千円
- 北九州市の出捐金 10,000千円（出捐の割合 1.8%）
- 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	0人	6人
常 勤	1人	0人	0人	1人
非常勤	5人	0人	0人	5人
職 員	33人	0人	0人	33人

II 令和3年度事業実績

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律した活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、未解明である、学際的である、又は先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という）に取り組み、研究等の成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定に際し、技術的基盤として活用していくことを目指して活動する。

令和3年度は、今日の課題への対応などに貢献することを念頭に、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、流域が一体となつてとりくむ水害に対して強靱で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などに関する未解決の諸課題にチャレンジしつつ、以下の研究等を重点的に行った。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指すこととし、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を、インターネットを通じて公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行った。

また、多自然サポートセンター、ARRN/JRRN の活動等により、多自然川づくりや海岸環境等に係る研究成果、技術情報等の情報共有、発信に努めた。

1. 環境・生態系の基本的課題に関する研究等

河川、海岸等の水辺に係わる環境・生態系の基本的課題に関する研究等を行った。

2. 持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成に向けた研究等

気候変動等の地球規模の課題や、大規模災害等の地域ごとの課題に対処し、持続可能で活力ある安全・安心な流域社会の形成を目指した研究等を行った。

3. 意識共有、合意形成の円滑化に向けた研究等

河川、海岸等の水辺に係る現状や諸課題に関し、関係者が認識を共有し円滑な合意形成を図るための手法に関する研究等を行った。

4. 研究成果、技術の普及

新型コロナウイルスの感染防止のため、人が集まる諸活動の実施を見送り、インターネット配信等による活動を中心に研究成果、技術の普及を行った。

5. 国際貢献の推進

新型コロナウイルス拡大の影響により、現地調査等の海外渡航は中止し、インターネットにより、わが国の水辺に関する技術に関して諸外国へ情報提供等を行うとともに、技術普及・情報収集に資するため、諸外国の技術状況を調査した。

Ⅲ 令和3年度決算

1 貸借対照表（総括表）

令和4年3月31日現在（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	23,094,606	46,018,446	△22,923,840
完成業務未収入金	329,002,000	431,031,700	△102,029,700
貯蔵品	115,754	131,797	△16,043
未収金	1,928,460	2,481,580	△553,120
前払費用	9,643,322	306,185	9,337,137
流動資産合計	363,784,142	479,969,708	△116,185,566
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
定期貯金	242,300,000	242,300,000	0
基本財産合計	542,300,000	542,300,000	0
(2) 特定資産			
研究開発積立資産	957,700,000	957,700,000	0
退職給付引当資産	62,487,525	54,718,625	7,768,900
特定資産合計	1,020,187,525	1,012,418,625	7,768,900
(3) その他固定資産			
建物	1,544,359	2,471,235	△926,876
什器備品	2,577,343	4,912,134	△2,334,791
リース資産	1,560,060	2,600,100	△1,040,040
電話加入権	145,600	145,600	0
敷金	45,514,794	45,514,794	0
その他固定資産合計	51,342,156	55,643,863	△4,301,707
固定資産合計	1,613,829,681	1,610,362,488	3,467,193
資産合計	1,977,613,823	2,090,332,196	△112,718,373
II 負債の部			
1 流動負債			
業務未払金	34,009,000	79,963,000	△45,954,000
短期借入金	337,050,273	320,255,557	16,794,716
短期リース債務	1,066,829	1,048,688	18,141
未払金	2,957,664	1,765,251	1,192,413
預り金	2,244,289	2,369,623	△125,334
賞与引当金	15,716,000	13,222,000	2,494,000
未払消費税等	0	12,382,200	△12,382,200
流動負債合計	393,044,055	431,006,319	△37,962,264
2 固定負債			
長期リース債務	540,317	1,607,146	△1,066,829
退職給付引当金	62,487,525	54,718,625	7,768,900
固定負債合計	63,027,842	56,325,771	6,702,071
負債合計	456,071,897	487,332,090	△31,260,193
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,521,541,926	1,603,000,106	△81,458,180
（うち基本財産への充当額）	(542,300,000)	(542,300,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(957,700,000)	(957,700,000)	(0)
正味財産合計	1,521,541,926	1,603,000,106	△81,458,180
負債及び正味財産合計	1,977,613,823	2,090,332,196	△112,718,373

2 正味財産増減計算書（総括表）

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,004,843	6,009,730	△4,887
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	4,139,097	6,626,280	△2,487,183
③ 事業収益			
調査研究事業収益	441,461,999	545,750,700	△104,288,701
④ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	13,222,000	10,055,000	3,167,000
⑤ 雑収益			
雑収益	214,392	528,752	△314,360
経常収益計	465,042,331	568,970,462	△103,928,131
(2) 経常費用			
① 事業費			
調査研究費	387,962,143	456,141,426	△68,179,283
研究開発・技術普及費	99,830,940	37,472,344	62,358,596
② 管理費			
管理費	58,707,428	63,487,426	△4,779,998
経常費用計	546,500,511	557,101,196	△10,600,685
当期経常増減額	△81,458,180	11,869,266	△93,327,446
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	3	△3
経常外費用計	0	3	△3
当期経常外増減額	0	△3	3
当期一般正味財産増減額	△81,458,180	11,869,263	△93,327,443
一般正味財産期首残高	1,603,000,106	1,591,130,843	11,869,263
一般正味財産期末残高	1,521,541,926	1,603,000,106	△81,458,180
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,521,541,926	1,603,000,106	△81,458,180

IV 令和4年度事業計画

公益財団法人リバーフロント研究所は、自律して活力ある持続可能な社会の再構築に資するため、気候変動、資源の逼迫、自然環境の悪化など、世界的にも地域的にも抜本的対応が必要となっている水や水辺に関する諸課題について、常に将来の社会のニーズを先取りし、多様な分野の学識者と連携しつつ、先端的である技術、施策・制度等に関する調査研究、技術開発（以下、「研究等」という。）等を積極的に行い、その成果を今後の社会を支える施策、制度等の制定、改定に活用していくことを目指して活動している。

令和4年度は、近年及び将来予測される課題の対応に貢献することを念頭におき、河川、海岸等の水辺、流域に関し、環境・生態系の基本的課題の解明、健全な水循環系の保全・再生、流域が一体となって取り組む水害に対して強靱で活力ある国土基盤の形成・活用、自然豊かな水辺の保全・再生、関係者の意識共有・合意形成などに関する未解決の諸課題に取り組むこととする。

研究等の成果は、施策・制度等を通じて我が国の社会基盤の充実、国民生活の向上に資するとともに、水や水辺に関する様々な団体等活動や諸外国の抱える水に関する課題の解決に寄与するべく幅広い活動を目指す。インターネット等のツールを最大限活用し、国内外の技術者等との情報共有、活用促進を図るため、研究等の成果概要を公表するとともに、研究発表会、セミナー等により情報発信を行う。

V 令和4年度予算

1 収支予算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	6,000,000	6,000,000	0
② 研究開発積立資産運用益			
研究開発積立資産受取利息	16,500,000	6,600,000	9,900,000
③ 事業収益			
調査研究事業収益	538,000,000	548,000,000	△10,000,000
④ 賞与引当金戻入額			
賞与引当金戻入額	12,386,000	12,121,000	265,000
⑤ 雑収益			
雑収益	500,000	500,000	0
経常収益計	573,386,000	573,221,000	165,000
(2) 経常費用			
① 調査研究事業費			
調査研究費	480,415,479	482,349,345	△1,933,866
研究開発・技術普及費	34,923,146	31,483,941	3,439,205
② 管理費			
管理費	58,047,375	59,387,714	△1,340,339
経常費用計	573,386,000	573,221,000	165,000
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0

VI 役員名簿

令和4年4月1日現在

役職名	氏名	備考
代表理事	塚原浩一	常勤
理事	菅和利	非常勤
//	見城美枝子	//
//	田代民治	//
監事	小野賢二	//
//	増岡洋一	//